

補正予算

一般会計、2件の企業会計の補正予算を可決しました。主な内容は次のとおりです。

一般会計

- ・ 中心市街地道路整備事業 (7,762万5千円)
- ・ 中心市街地の活性化を図るための道路整備事業。三城小学校脇の自転車歩行者道路の整備、西沢から十八銀行までの300mをカラ1舗装化、向陽高校そばにポケットパークの設置など。

- ・ 市民生活相談事業 (492万6千円)
- ・ 多様化する消費生活相談を充実し、市民の安全・安心を確保するため、10月に「大村市消費生活センター」を開設。



豊かな体験活動推進事業 (178万6千円)

子供たちの豊かな人間性や社会性を育てるため、推進校に指定された福重小学校5年生の小値賀町での宿泊体験活動を支援。



企業会計

- ・ モーターボート

競走事業会計

(1億1,500万円)
登録したICカードに現金をチャージし、そのカードで舟券を購入、最後に精算を行うキャッシュレス舟券発売機を導入。今年度12月に発売機10台、精算機5台を設置予定。

これにより顧客の利便性の向上、業務の省略化によるコストダウン、利用状況の把握によるサービス展開などが図られます。

意見書

国民健康保険制度に関する意見書

国民健康保険税の増額を行う条例改正案について審議を重ねる中で、医療制度改革に伴い国庫負担が大幅に減少したことが、国保会計の歳入不足の最大の要因であり、高齢化に伴う医療費増や長引く経済不況の中、地方公共団体がこのまま安定的な運営を維持することは、もはや限界にきているとの声が多くあがりました。そこで、このような声を国に伝えるべく、国に対し国庫負担を拡大するよう意見書を提出しました。



(意見書本文)

国民健康保険制度は、国民皆保険制度の根幹として、市民の健康増進に重要な役割を果たしている。しかしながら、地方公共団体が運営している国民健康保険は、医療制度改革に伴う国庫負担の減や保険料収入の伸び悩みから、大幅な収支不足が発生し、健

全財政を維持することが困難な状況となっている。当市においては、制度の維持を図るため、医療費削減や収納率向上など様々な改善策に取り組んでいるが、もはや限界に近い状況にあり、保険税の増額改定により乗り切っているのが実情である。

今後、高齢化の進展や医療の高度化に伴う医療費増は避けられず、長引く経済不況の中、高齢者、年金生活者などが多い国民健康保険の被保険者に、これ以上の負担を課すことは非常に厳しい状況である。

よって、国におかれては、国民健康保険制度の健全な運営を図るため、医療制度改革に伴う影響を考慮し、国庫負担を拡大するなどの財政措置や制度改善を行うことを強く要望する。

大村市議会



※提出先は衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣です。

基地対策予算の増額等を求める意見書

厳しい財政状況にある基地関係市町村の実情を考慮し、基地対策予算の増額等がなされるよう、国に対し意見書を提出しました。

決議

飲酒運転根絶に関する決議

大村市の飲酒運転発生件数は、本年5月末現在25件で、昨年の6件から約4倍に急増していることから、改めて交通安全意識の徹底、市民と一体となった飲酒運転の根絶、交通事故のない明るい社会づくりに努めていくことを決議しました。



請願

国民健康保険税の引き上げに反対する請願の件

国民健康保険税の増額を行う条例改正案に伴って提出されたものであり、条例案を一部修正可決しましたので、引き上げに反対する請願の趣旨とは相反するため、不採択としました。

その他

新幹線対策等特別委員会を設置しました

新幹線建設に伴う新駅周辺や中心市街地のまちづくりについて調査、検討するため、新幹線対策等特別委員会を設置しました。

委員構成

- 委員長 前川 與
- 副委員長 恒石 源治
- 委員 神近 寛
- 田中 秀和
- 三浦 正司
- 永石 賢二
- 田崎 忠義
- 里脇 清隆